

MCR-332

(CRX-332 + NS-BP111)

マイクロコンポーネントシステム

Made for

 iPod  iPhone  iPad

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音が出る。
 - 異常に高温になる。
 - 内部に水や異物が混入した。
 - 煙が出る。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

本体の○ボタンでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

本機を完全に主電源から切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右10cm、上10cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。



手を挟まらないよう注意

ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・
薬品・ろうソクなどを置かない。
水や異物が入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因に
なります。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまっただまま使用を続けると、プラグがショート
して火災や感電の原因になります。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可
能性または物的損害が発生する
可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセ
ントから抜く。
火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱら
ない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込
む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグに
ほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセ
ントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正
しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になり
ます。



必ず実行

電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れたりすると危険です。



禁止

指定以外の電池は使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入
れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原
因になります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合は、電池をリモコンから抜い
ておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷する
おそれがあります。



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに
従って廃棄する。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる
場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、
火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気が多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因にな
ります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあ
たえるおそれがあります。



必ず実行

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接
続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



再生の前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

必ず実行



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

禁止



大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止



ディスクの挿入口には手を入れない。
本機のカメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。

禁止



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修した
ディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、
けがの原因になります。

禁止



環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生
することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく
放置してください。

注意



レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目当たると、視覚障害の原因になります。

禁止



外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよ
く読み、説明に従って接続する。

必ず実行

手入れ



手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

必ず実行



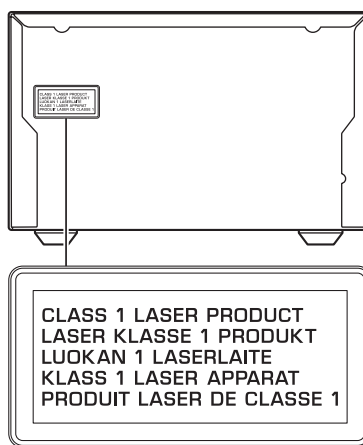
薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。柔らか
い布で乾拭きするか、汚れがひどいときは、水を布に含ませ、
よくしぼって拭き取ってください。

禁止



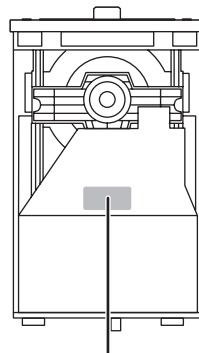
年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因
になります。

必ず実行



ご注意

この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。



DANGER: AVOID DIRECT EXPOSURE TO THE BEAM
INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN

CAUTION: DO NOT STARE INTO BEAM
INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

目次

準備

付属品	2
再生可能なディスク / ファイル形式	3
接続	4
スピーカー / アンテナ / サブウーファアの 接続	4
電源コードの接続	5
その他の接続	5
リモコン	6
ディスプレイ	7

その他の情報

故障かな?と思ったら	13
全般	13
放送局の受信	13
iPod/iPad	14
USB/iPad	15
ディスクの再生	16
リモコンの操作	16
ディスクの取り扱いについて	17
主な仕様	17

操作

フロントパネルと基本操作	8
音楽を聴く	9
再生操作	9
その他の操作	10
ラジオを聴く	11
放送局を選ぶ	11
放送局をプリセットに登録する	11
登録した放送局を選ぶ (プリセット選局)	11
便利な機能	12
設定メニューを使う	12
スリープタイマーを使う	12

■ 本書について

- ・本文中の iPod という表記は iPhone も含みます。
- ・本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、リモコンでの操作を中心に記載しています。
- ・☞ は参照先のページを表します。
- ・「ご注意」では操作・設定を行うときに留意すべき事項、※では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- ・本書は製品の生産に先がけて作成されたものです。製品改良などの理由で実際の製品や梱包箱と内容が一部異なる場合がございますのでご了承ください。

付属品

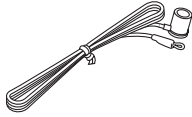
ご使用になる前に、同梱されている付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

リモコン



(CR2032 型
ボタン電池使用)

FM アンテナ



ドック
Dock カバー



AM アンテナ



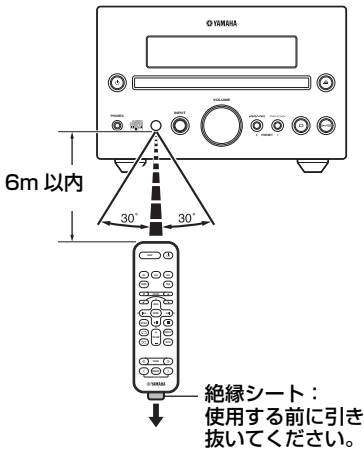
USB キャップ



ご注意

お子様が USB キャップを飲み込むのを防ぐため、お子様の手の届くところに USB キャップを置かないでください。

■ リモコンを使用する

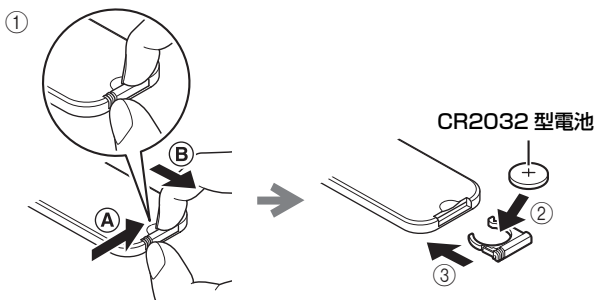


リモコンで本機を操作するときは、リモコンの赤外線信号送信部を本体のリモコン受光部に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から 6m 以内です。

ご注意

- ・リモコンに水や飲み物などをこぼさないようご注意ください。
- ・リモコンを落としたり、リモコンに強い衝撃を与えたりしないようご注意ください。
- ・リモコンを以下のような場所に放置しないでください。
 - 気温・湿度が高い場所（ヒーターの近くや風呂場など）
 - 極端に気温が低い場所
 - ほこりっぽい場所

■ リモコンの電池を交換する



Ⓐ の方向にツマミを押しながら、電池ケースを Ⓑ の方向に引き出してください。リモコンの電池が消耗すると、リモコンで本機を操作できる距離が極端に短くなります。このような場合、早めに新しい電池と交換してください。

再生可能なディスク / ファイル形式

■ 本機で再生できるディスク



.... コンパクトディスク
(オーディオ CD)



.... CD-R、CD-RW ディスク
・下記のいずれかの表示のある CD-R や CD-RW ディスク
FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY



・ファイナライズされた CD-R や CD-RW ディスク



ご注意

一部の CD-R/CD-RW ディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。



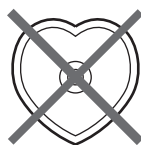
.... CD-TEXT ディスク

8 センチ CD を再生するには

ディスクトレイの内側のくぼみに 8 センチ CD をセットしてください。また、8 センチ CD の上に 12 センチ CD を重ねて置かないでください。

ご注意

- ・上記以外のディスク（変形ディスクも含みます。）はご使用にならないでください。
上記以外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクの破損や本機の故障の原因となる場合があります。
- ・ディスクにセロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



お知らせ

使用環境により異なりますが、レンズのクリーニングは必要ありません。誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

■ 本機で再生できる MP3/WMA ファイル

MP3

フォーマット	ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)
MPEG 1 Audio Layer-3	32-320*1	32/44.1/48
MPEG 2 Audio Layer-3, 2	8-160*1	16/22.05/24

*1 可変ビットレートに対応しています。

WMA

- ・ Version 8
- ・ Version 9（標準 / 可変ビットレート対応、Professional and Lossless 非対応）

プロファイル	ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)
High Profile	32-320*2	32/44.1/48
Mid Profile	16-32	22.05

*2 固定ビットレートおよび可変ビットレートに対応していません。

ご注意

- ・ Data Disc はファイルをアルファベット順に再生します。
- ・ USB 機器はファイルの作成日時順に再生します。
- ・ 本機では、著作権保護された WMA (DRM) ファイルは再生できません。
- ・ 本機は ISO9660 フォーマットのディスクに対応していません。
- ・ ファイル数の上限は次の通りです。

	Data Disc	USB
ファイルとフォルダの最大合計数 *3	512	9,999
最大フォルダ数 *3	255	999
1 フォルダ内の最大ファイル数	511	255

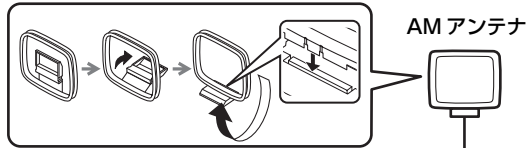
*3 ルートもフォルダの一つとして数えます。

接続

スピーカー / アンテナ / サブウーファーの接続

スピーカーとFM/AM アンテナを接続します。スピーカーに付属している取扱説明書もご参照ください。また、本機にサブウーファーを接続すると、SUBWOOFER OUT 端子から音声の低域部分が出力されます。

すべてのケーブルを接続するまで、本機の電源コードは接続しないでください。



AM アンテナ

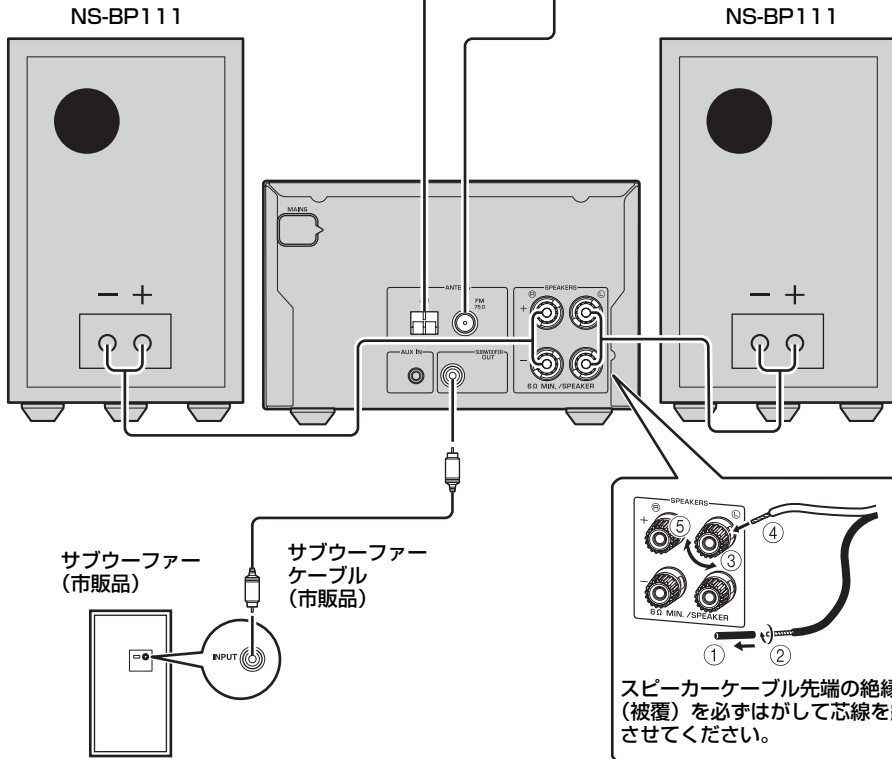
ご注意

- ・受信状況の良い場所を探して、アンテナを配置してください。
- ・アンテナの近くにデジタル機器等があると影響を受ける場合があります。

FM アンテナ

ご注意

- ・アンテナはしっかりと張ってください。
- ・付属のアンテナの代わりに屋外アンテナを使用すると受信状態が良くなります。
- ・受信状態が悪い場合は、アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。
- ・付属以外のFMアンテナを使用するときは、ねじ切りのないタイプをお使いください。



サブウーファー
(市販品)

サブウーファー
ケーブル
(市販品)

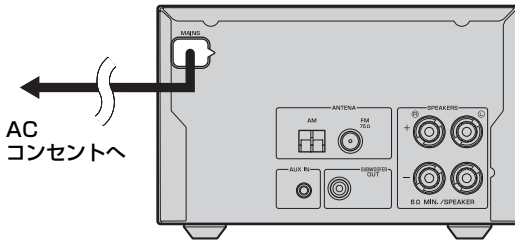
スピーカーケーブル先端の絶縁部
(被覆) を必ずはがして芯線を露出
させてください。

ご注意

- ・サブウーファーはアンプ機能内蔵のものをご使用ください。
- ・端子の左右 (L, R) や、極性 (赤: +, 黒: -) を確認して正しく接続してください。間違えて接続すると音が不自然になったり、低音が出なくなったりします。また、接続が不十分だと音がまったく出なくなります。
- ・スピーカーの芯線どうしが接触したり、芯線が他の金属部に接触することのないようご注意ください。本機およびスピーカーを破損する原因となります。
- ・スピーカーは、インピーダンスが 6Ω 以上のものをお使いください。
- ・ブラウン管を使用したディスプレイの近くでご使用になり万一色ムラや雑音などが生じるときは、スピーカーとディスプレイの距離を離してご使用ください。

電源コードの接続

すべての接続が完了したら、本機の電源コードをコンセントに接続します。



その他の接続

■ iPod をセットする

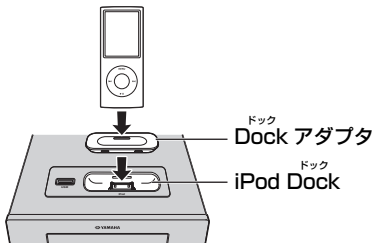
iPod はいつでも好きなときに接続または取り外しできます。



iPod Dock に接続すると充電されます。ただし、電源をオンにして入力ソースを USB に設定すると、充電されません。

ご注意

本機は iPod classic、iPod nano (2G 以降)、iPod touch、iPhone に対応しています。

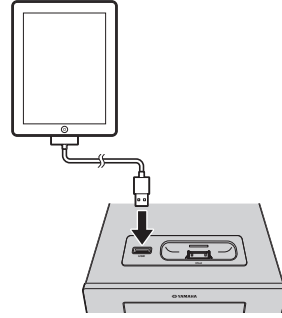


ご注意

- 確実に接続するために、iPod 同梱の Dock アダプタまたは市販の iPod Universal Dock アダプタを取り付け、iPod の保護ケースは取り外してください。
- アダプタを装着しない、またはアダプタが適合していない場合、ぐらつきや接触不良によりコネクタが破損する恐れがあります。Dock アダプタについては、アップルのウェブサイトをご覧ください。
- iPod に保護ケースを付けたまま無理に接続すると、コネクタが破損する恐れがありますので、保護ケースを外して接続してください。
- iPod を使用しないときは、コネクタを保護するために Dock カバーをかぶせてください。

■ iPad を接続する

iPad はいつでも好きなときに接続または取り外しできます。



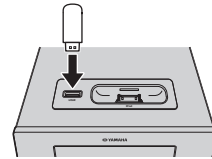
電源をオンにして入力ソースを USB に設定すると、本機に接続した iPad は充電されます。

ご注意

- お使いの iPad に付属している Dock コネクタ (USB ケーブル用) を必ずご使用ください。
- iPad や USB 機器を使用しないときは、USB ポートを保護するために USB キャップをかぶせてください。

■ USB 機器を接続する

USB 機器はいつでも好きなときに接続または取り外しできます。



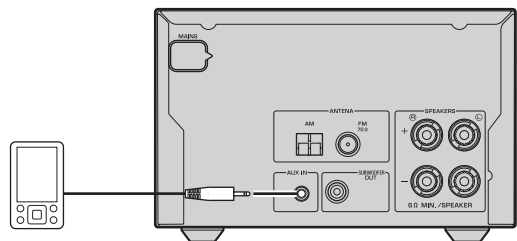
電源をオンにして入力ソースを USB に設定すると、本機に接続した USB 機器は充電されます。

ご注意

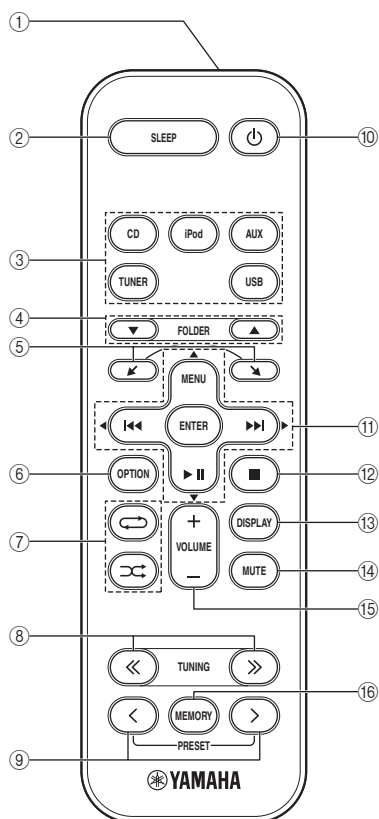
- 本機で再生できる USB 機器は、USB マスストレージクラスに対応し、データが FAT16 または FAT32 ファイルシステムで記録されているフラッシュメモリ、ポータブルオーディオプレーヤーです。
- USB マスストレージクラス以外の機器 (USB チャージャーや USB ハブ)、PC、カードリーダー、外付け HDD などは本機に接続できません。
- 暗号化機能付きの USB 機器は使用できません。
- iPad や USB 機器を使用しないときは、USB ポートを保護するために USB キャップをかぶせてください。

■ 外部機器を接続する

ポータブルオーディオ機器を市販の 3.5mm ステレオミニプラグケーブルで接続します。

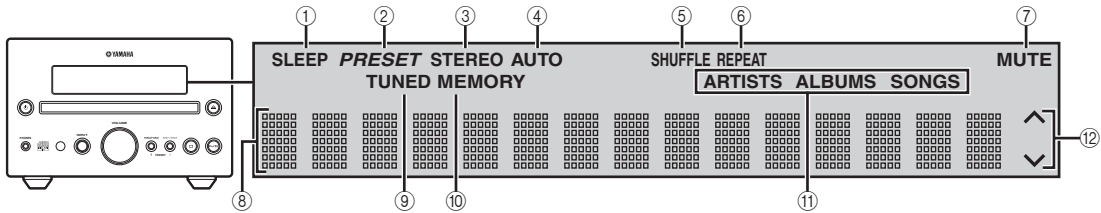


リモコン



- ① 赤外線信号送信部
- ② ^{スリープ}**SLEEP**：スリープ設定 (P. 12)
- ③ **ソースボタン**：ソース切替。ラジオ聴取時に、^{チューナー}**TUNER** で FM/AM を切り替えます。
- ④ ^{フォルダ}**FOLDER** (データ CD、USB 機器再生時)：フォルダ切替
- ⑤ **▲、▼**：iPod の画面をスクロールします。
- ⑥ ^{オプション}**OPTION**：設定メニュー表示 (P. 12)
- ⑦ **↻** (シャッフル)、**↺** (リピート)：(P. 10)
- ⑧ ^{チューニング}**TUNING** (ラジオ聴取時)：ラジオのチューニングをします。(P. 11)
- ⑨ ^{プリセット}**PRESET** (ラジオ聴取時)：プリセット選局 (P. 11)
- ⑩ **⏻**：スタンバイ / オン
- ⑪ **⏮、⏭** (曲の再生中)：曲のスキップ、早戻し / 早送り (長押し)
^{メニュー}**MENU** (iPod 操作時)：前のメニューに戻ります。
▶||：再生 / 一時停止
▲/▼/◀/▶ (設定メニュー操作時)：設定を変更します。
- ⑫ ^{エンター}**ENTER** (iPod 操作時)：グループを選択 / 再生 (設定メニュー操作時)：選択を確定します。
- ⑬ ^{再生停止}**■**：再生停止
- ⑭ ^{ディスプレイ}**DISPLAY**：ディスプレイの表示内容を切り替えます。(P. 10)
- ⑮ ^{ミュート}**MUTE**：消音 / 消音の解除
- ⑯ ^{ボリューム}**VOLUME**：音量調整
- ⑰ ^{メモリー}**MEMORY**：放送局をプリセットに登録 (P. 11)

ディスプレイ

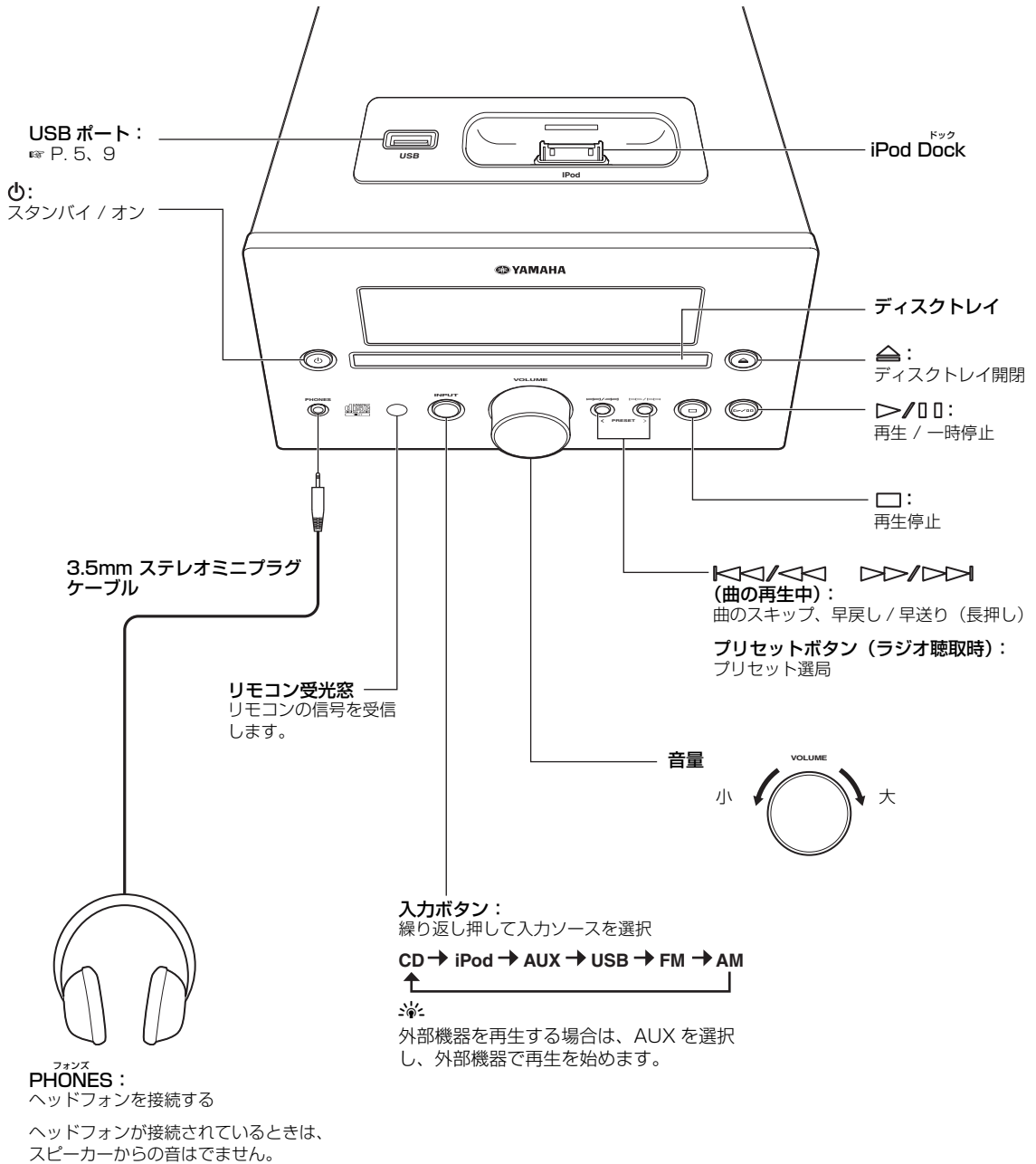


- ① スリープ
SLEEP インジケーター：スリープタイマー機能使用時に点灯します (P. 12)。
- ② プリセット
PRESET インジケーター：プリセット局を選局しているときに点灯します (P. 11)。
- ③ ステレオ
STEREO インジケーター：電波の強いFMステレオ放送を受信すると点灯します。
- ④ オート
AUTO インジケーター：自動選局を行っているときに点灯します (P. 11)。
- ⑤ シャッフル
SHUFFLE インジケーター：iPod、iPad、CD、USB がシャッフル再生に設定されているときに点灯します (P. 10)。
- ⑥ リピート
REPEAT インジケーター：iPod、iPad、CD、USB がリピート再生に設定されているときに点灯します (P. 10)。
- ⑦ ミュート
MUTE インジケーター：消音しているときに点灯します。
- ⑧ **メインディスプレイ**：さまざまな情報を表示します。
- ⑨ チューンド
TUNED インジケーター：放送局を受信しているときに点灯します (P. 11)。
- ⑩ メモリー
MEMORY インジケーター：自動または手動で放送局を登録しているときに点灯、自動プリセットで放送局を探しているときに点滅します (P. 11)。
- ⑪ **マルチインフォメーションインジケーター**：現在メインディスプレイで表示している音楽情報を表示します (P. 10)。
- ⑫ **操作インジケーター**：設定メニューを使用しているときに操作可能なカーソルを表示します。

フロントパネルと基本操作



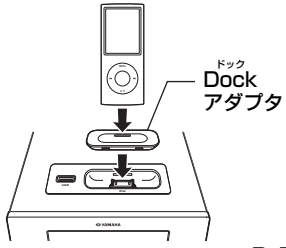

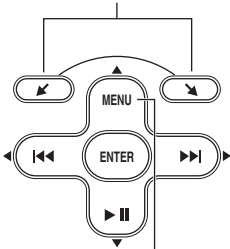
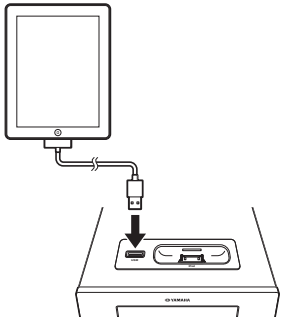

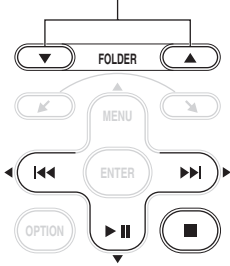
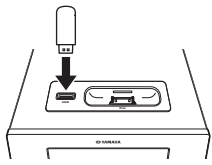
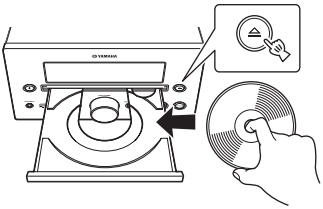

本体の \odot を押すと、本機はスタンバイに切り替わります。スタンバイ時には、ディスプレイの表示がされなくなり、電力の消費を抑えることができます。電源をオンにするには、フロントパネルの \odot / \triangle / \triangleright / \square を押してください。 \triangleright / \square を押した場合は、CD、iPod、USBのうち最後に選択した入力ソースに設定されます。入力ソースがCD、USBに設定された場合は音楽の再生が始まります。



音楽を聴く

再生操作

下記の手順に従って再生操作をしてください。

	1 入力ソースをセットする	2 入力を切り換える	3 音楽を選択して再生する
iPod*1	 <p>ドック Dock アダプタ</p> <p>P. 5</p>		<p>リストをスクロールします</p>  <p>メニューを操作します</p>
iPad*1	 <p>P. 5</p>		<p>MP3/WMA は、前もしくは次のフォルダの最初のファイルへスキップします*3</p> 
USB*2	 <p>P. 5</p>		
CD			

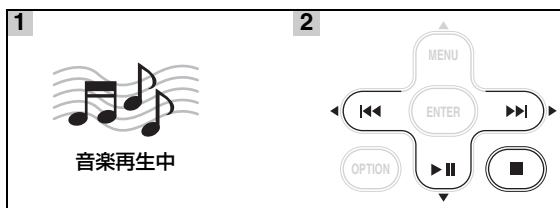
*1 お使いの iPod や iPad のモデルやソフトウェアのバージョンによってはご使用できない機能もあります。

*2 ・お使いの USB 機器によっては正常に動作しないことがあります。
 ・すべての USB 機器に対して、動作および電源の供給を保障するものではありません。
 ・保存されているファイルもしくはフォルダの数によっては読み込みに 30 秒以上かかることもあります。
 ・USB 機器を本機と接続して使用しているときに、USB 機器のデータを消失あるいは損傷した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

*3 ・一時的にディスプレイにフォルダ名が表示されます。
 ・ルートフォルダに曲がある場合、ルートフォルダの曲を再生しているときはディスプレイに ^{ルート}ROOT と表示されます。

その他の操作

■ 再生操作



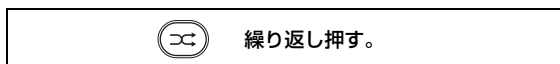
- ▶▶: 曲のスキップ / 長押しで早送り
- ◀◀: 曲のスキップ / 長押しで巻き戻し
- ▶||: 再生 / 一時停止
- : 停止

ご注意

- ・ Data Disc はファイルをアルファベット順に再生します。
- ・ USB 機器はファイルの作成日時順に再生します。
- ・ CD/USB 機器を再生中に ■ を押した場合、次回は再生していた曲の始めから再生されます。停止中に再度 ■ を押した場合は、次回は CD/USB 機器内の最初の曲から再生します。
- ・ CD/USB 機器の再生を停止 / 一時停止したあと、何も操作されない状態が 60 分間続くと、本機は自動的にスタンバイに切り替わります (自動スタンバイ機能)。

■ シャッフル再生

ランダムに音楽を再生します。



iPod/iPad

SHUFFLE SONGS → SHUFFLE ALBUMS*1
 ↖ SHUFFLE OFF ↗

- *1 iPod touch、iPhone、iPad では SHUFFLE ALBUMS は設定できません。

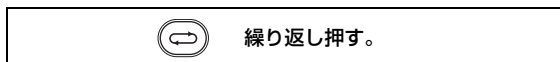
CD/USB

SHUFFLE FOLDER*2 → SHUFFLE ALL
 ↖ SHUFFLE OFF ↗

- *2 選択された音楽ソースが MP3 / WMA の場合、SHUFFLE FOLDER も選択できます。

■ リピート再生

繰り返し音楽を再生します。



iPod/iPad

REPEAT OFF → REPEAT ONE → REPEAT ALL
 ↖ REPEAT OFF ↗

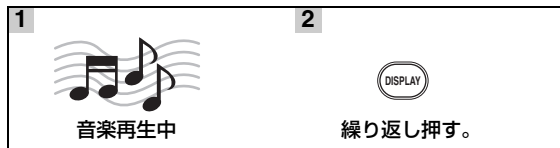
CD/USB

REPEAT ONE → REPEAT FOLDER*3
 ↖ REPEAT OFF ↗

- *3 選択された音楽ソースが MP3 / WMA の場合、REPEAT FOLDER も選択できます。

■ 画面の表示内容を切り替える

ディスプレイに表示されている再生情報を切り換えることができます。ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。漢字やひらがな、カタカナ、特殊記号は表示されません。



iPod/iPad

曲番号と再生経過時間 (初期画面)
 ↓
 曲番号と残り時間
 ↓
 曲名
 ↓
 アーティスト名
 ↓
 アルバム名
 ↓
 初期画面に戻る

ご注意

この機能は iPod classic、iPod nano (2G 以降)、iPod touch、iPhone、iPad でのみご利用いただけます。ただし iPod/iPad のソフトウェアのバージョンによっては、上記のモデルでも使用できない場合もあります。

CD/USB

トラック / ファイル番号と現在の曲の再生経過時間 (初期画面)
 ↓
 トラック番号と現在の曲の残り時間 *4
 ↓
 ディスクの総演奏時間 *4
 ↓
 ディスクの残り時間 *4
 ↓
 ファイル名 *5
 ↓
 曲名 *6
 ↓
 アーティスト名 *6
 ↓
 アルバム名 *6
 ↓
 初期画面に戻る


*4 オーディオ CD 再生時のみ


*5 MP3/WMA ファイル再生時のみ


*6 選択されたトラックが各情報を含んでいるときのみ

ラジオを聴く

放送局を選ぶ

1  繰り返し押しして、FM または AM を選ぶ。

2  長押しして、自動チューニングを始める。

 放送局の電波が弱く、受信しにくいときには、**TUNING** を繰り返し押し、手動でチューニングできます。


ご注意


手動でチューニングした場合、ラジオの音声はモノラルになります。


放送局をプリセットに登録する

プリセット機能を使って、お好みの放送局を本機にあらかじめ登録できます。

■ 自動プリセット

1  入力ソースが FM または AM に設定されているときに **MEMORY** を 2 秒以上長押しする。


2  自動プリセットを開始する。


 自動プリセットをやめるには、手順 2 で **ENTER** を押す前に **MEMORY** をもう一度押します。

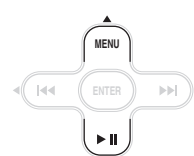
ご注意


自動プリセットを実行すると現在登録されているすべての放送局が消去され、新たに放送局が登録されます。


■ 手動プリセット

1  登録したい放送局を選ぶ。


2  **MEMORY** を押す。

3  登録したいプリセット番号を選ぶ。

4  放送局を登録する。

 FM/AM それぞれ 30 局まで登録できます。
 ・プリセット番号選択中に手動プリセットをやめるには、**MEMORY** をもう一度押します。
 ・設定メニューの **PRESET DELETE** から登録した放送局を削除できます。**OPTION** →カーソル **▲/▼** で **PRESET DELETE** を選択し **ENTER** を押したあと、不要な放送局を削除してください。

登録した放送局を選ぶ (プリセット選局)

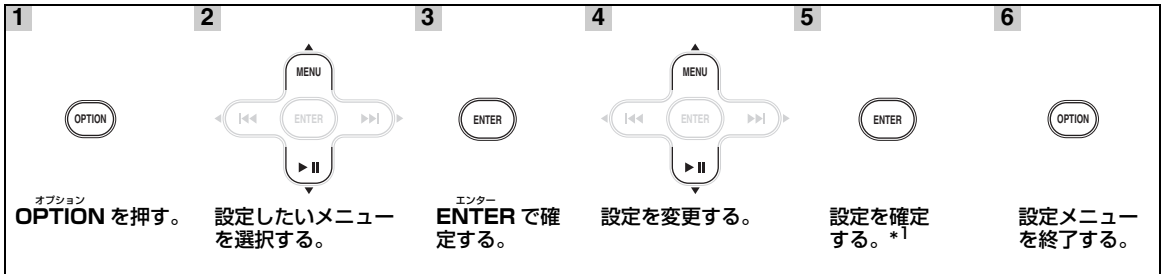
 入力ソースが FM または AM に設定されているときに、登録した放送局を選ぶ。

便利な機能

設定メニューを使う

オプション
OPTION を押すとディスプレイに設定メニューが表示されて、様々な機能を設定することができます。

設定メニュー	設定内容または調整範囲	参照ページ
プリセット DELETE DELETE	(入カソースが FM または AM のときだけ表示されます)	11
ディマー DIMMER (表示の明るさ)	ディマー オフ (明るい) / DIMMER 1/ DIMMER 2 (暗い)	本ページ
トレブル TREBLE (高音)	- 10 ~ + 10	本ページ
バス BASS (低音)	- 10 ~ + 10	本ページ
バランス BALANCE	L + 5 ~ CENTER ~ R + 5	本ページ
オート AUTO POWER OFF	タイム オフ/ タイム 8H/ タイム 4H 設定した時間、何も操作しない状態が続くと自動的に本機をスタンバイにします。	本ページ



*1 他の項目を続けて設定するときは、手順 2 から繰り返します。



途中で設定をキャンセルするときは、オプション
OPTION を押します。

■ 表示の明るさと音質 / バランスを設定する

ディマー
DIMMER：ディスプレイの表示の明るさを切り替えます。

トレブル
TREBLE*2：高音のレベルを調節します。

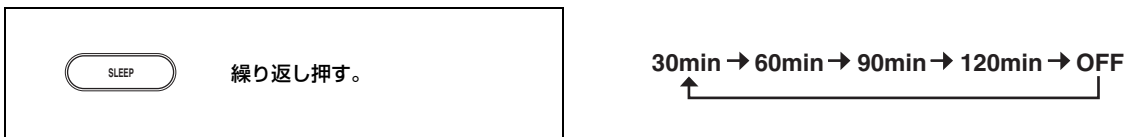
バス
BASS*2：低音のレベルを調節します。

バランス
BALANCE：左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

*2 ヘッドフォン使用時にも有効です。

スリープタイマーを使う

設定した時間を経過すると自動的に本機をスタンバイにします。



スリープタイマーが設定されると、ディスプレイの SLEEP インジケーターが点灯します (P. 7)。

故障かな?と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にあるご相談センターにお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策	ページ
電源を入れてもすぐに切れる。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードを正しく接続してください。	5
本機が正常に動作しない。	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本体の心を5秒以上押し続け本機をリセットしてください。リセットしても正常に動作しない場合は、本機の電源をスタンバイにして電源コードを抜いてください。約30秒後に電源コードをコンセントに再度接続し、電源をオンにしてください。	—
スピーカーから音が出ない。	再生したい入力ソースが正しく選ばれていない。	本体の入力ボタンやリモコンのソースボタンで再生したい入力ソースを正しく選んでください。	—
	スピーカーがしっかり接続されていない。	接続を確認してください。	4
	消音状態になっている。	消音を解除してください。	6
	音量が小さい。	音量を大きくしてください。	8
	CD-ROMなど、本機で再生できない信号を再生しようとしている。	本機で再生可能な信号の入力ソースを再生してください。	3
突然電源が切れる。	スリープタイマーを設定していた。	故障ではありません。本機の電源をオンにして再生しなおしてください。	—
	音楽が再生されないまま、なにも操作しない状態が1時間以上続いた。	—	—
	<small>オート</small> <small>パワー</small> <small>オフ</small> AUTO POWER OFF 機能がはたらいた。	<small>オート</small> <small>パワー</small> <small>オフ</small> <small>タイム</small> <small>オフ</small> AUTO POWER OFF の設定を TIME OFF にすることで継続的に再生することができます。	12
片側のチャンネルの音がほとんど出ない。	再生機器やスピーカーがしっかり接続されていない。	接続を確認してください。接続に問題が無いときはケーブルに不具合がある場合があります。	4
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機をそれらの機器から離して設置してください。	—

放送局の受信

症状	原因	対策	ページ
ステレオ放送になると雑音が多く聞きづらい。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナの接続を確認してください。	4
	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力弱い。	アンテナを感度の良い、多素子の屋外アンテナに変えてください。	—
	—	手動選局をしてください。	11
自動選局ができない。	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力弱い。	アンテナを感度の良い、多素子の屋外アンテナに変えてください。	—
	—	手動選局をしてください。	11
プリセット選局ができない。	本機のメモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再度登録してください。	11
専用アンテナや屋外アンテナを使用しているも、音が歪むなど受信感度が悪い。	マルチパス(多重反射)などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。	—

iPod/iPad

ご注意

本機のディスプレイに下記のメッセージが表示されない場合は、iPod/iPad の接続をご確認ください。

表示	内容	対策	ページ
iPod Connecting iPod Charging	iPod との接続を確認している。	ディスプレイのメッセージが消えない場合は、iPod を接続しなおしてください。	5
Unknown iPod	iPod との通信に問題が発生している。	iPod を接続しなおしてください。	5
	本機に対応していない iPod が接続されている。	iPod classic、iPod nano (2G 以降)、iPod touch、iPhone のみ対応しています。	—
iPod	iPod は認識しているが、iPod から再生時間などの情報が取得できない。		
iPod Unplugged	iPod が取り外されている。	iPod を接続してください。	5
Over Current	本機に対応していない iPod が接続されている。 iPod が斜めに挿入されている。	一旦 iPod を抜き、本機をスタンバイにして再度電源をオンにしてください。その後、対応している iPod をもう一度挿入してください。	5

上記のメッセージは、iPod を iPod Dock に接続しているときのみ表示します。

症状	原因	対策	ページ
iPod/iPad の音が出ない。	本機の電源がオフになっている。	電源コードを正しく接続してください。	—
	iPod/iPad のソフトウェアが最新バージョンになっていない。	アップル社のウェブサイトから最新の iTunes ソフトウェアをダウンロードし、iPod/iPad のソフトウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。	—
	iPod/iPad と本機が接続中です。	接続が完了するまで少々お待ちください。	—
	iPod/iPad が正しく接続されていない。	一旦 iPod/iPad を本機から取り外し、正しく差しなおしてください。	5
音は出るが本機またはリモコンから iPod/iPad の操作ができない。	iPod/iPad が正しく接続されていない。	一旦 iPod/iPad を本機から取り外し、正しく差しなおしてください。	5
iPod/iPad から操作ができない。	iPod/iPad が正しく接続されていない。	一旦 iPod/iPad を本機から取り外し、正しく差しなおしてください。	5
再生情報がディスプレイに表示されない。	使用している iPod/iPad が再生情報表示ディスプレイに対応していない。	この機能は iPod classic、iPod nano (2G 以降)、iPod touch、iPhone、iPad に対応しています。	5
iPod/iPad が充電されない。	iPod/iPad が正しく接続されていない。	一旦 iPod/iPad を本機から取り外し、正しく差しなおしてください。	5
何も操作していないのに再生中の曲が終了し、別の曲が始まる。	iPod のシェイク機能が有効になっている。	iPod のシェイク機能を無効にしてください。	—

USB/iPad

ご注意

下記のように対処しても不具合がある場合は、USB 機器の接続をご確認ください。

表示	内容	対策	ページ
USB Unplugged	USB 機器が正しく確実に接続されていない。	USB 機器を接続しなおしてください。	5
Unknown USB	非対応の USB 機器が接続された。	本機に対応した USB 機器を使用してください。	5
	ファイル名が長すぎる。	ファイル名を全角 80 文字、半角 250 文字以内に修正してください。	—
Over Current	USB 機器が斜めに挿入されている。	一旦 USB 機器を抜き、本機をスタンバイにして再度電源をオンにしてください。その後、対応している USB 機器をもう一度挿入してください。	5
No Files	再生可能なファイルが USB 機器に入っていない。	再生可能なファイルが入っている USB 機器を接続してください。	3
	本機に対応していない USB 機器を接続した。	本機を一旦スタンバイ にしてから USB 機器を接続しなおしてください。もし、再度同じ症状が現れた場合は、接続された USB 機器は使用できません。	—
USB Time Out	ファイル数、フォルダ数が制限を超えている。	ファイル、フォルダ数を制限以内に減らしてください。	3

症状	原因	対策	ページ
USB 機器に保存された音楽ファイルを再生できない。	USB 機器が認識されていない。	USB 機器を接続しなおしてください。	5
		USB 機器に AC アダプタが付属している場合、AC アダプタを接続してください。	—
		USB 機器をフォーマットし、再びファイルをコピーしてください。	—
	USB 機器が正しく接続されていない。	USB 機器を接続しなおしてください。	5
	MP3/WMA ファイルのフォーマットが本機に対応していない。	本機で対応しているファイルと交換してください。	3
	上記の対策をしても症状が改善されない場合、お使いの USB 機器は本機に対応していません。	別の USB 機器をお使いください。	—

ディスクの再生

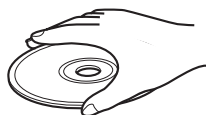
症状	原因	対策	ページ
音が出ない、または歪む。	MP3/WMA ファイルのサンプリング周波数が本機に対応していない。	サンプリング周波数またはビットレートが本機に対応しているか確認してください。	3
ディスクをセットしても再生されない。	CD-R/RW がファイナライズされていない。	CD-R/RW をファイナライズしてください。	—
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのラベル面を上にしてセットしてください。	—
	ディスクに不具合がある。	他のディスクを再生してください。同様の問題が生じない場合は、最初のディスクに不具合があります。	—
	MP3/WMA ディスクに入っているファイルが少ない。	MP3/WMA ディスクに少なくとも 5 ファイル以上の MP3/WMA ファイルが入っているか確認してください。ファイルが少ないとディスクが認識されない場合があります。	—
	MP3/WMA ファイルのサンプリング周波数が本機に対応していない。	サンプリング周波数またはビットレートが本機に対応しているか確認してください。	3
特定の機能が動作しない。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください。	3
本体の▶/⏪もしくはリモコンの▶/⏪を押しても再生が始まらない(すぐに停止する)。	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください。	—
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください。	3
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を、1～2 時間ほど放置し、部屋の温度になじませてから、再度操作してください。	—
ディスクトレイにディスクが挿入されているときに「No Disc」とディスプレイに表示される。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください。	3
	ディスクが汚れている、または異物が付着している。	ディスクを取り出し、汚れを拭きとってください。または付着した異物を取り除いてください。	—
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクを取り出し、ラベル面を上にしてセットしてください。	—

リモコンの操作

症状	原因	対策	ページ
リモコンで本機を操作できない	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	リモコンの操作範囲については、「リモコンを使用する」をご参照ください。	2
	本機のリモコン受光窓に直射日光や照明があたっている。	照明または本機の向きを変えてください。	—
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。	2
	リモコンと本機を受光窓の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	—

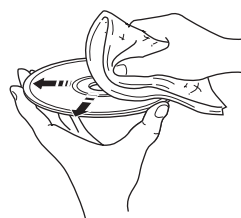
ディスクの取り扱いについて

- ・できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。ディスクを折り曲げないでください。



- ・ディスク表面の掃除には、乾いた柔らかい布を使用してください。ディスククリーナー、スプレー、その他化学薬品は使用しないでください。
- ・直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置かないでください。

- ・ディスクを拭くときは、ディスクの内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。



- ・ディスクのラベル面に文字を書くときは、先の柔らかいマジックペンを使用してください。

主な仕様

プレーヤー部

iPod

- ・対応 iPodiPod classic、iPod nano (2G以降)、iPod touch、iPhone、iPad

CD

- ・メディア CD、CD-R/RW
- ・オーディオフォーマット.....オーディオ CD、MP3、WMA

レーザー

- ・タイプ 半導体レーザー GaAs/GaAlAs
- ・波長 780nm
- ・出力 10mW

USB

- ・オーディオフォーマット MP3、WMA

AUX

- ・入力端子 ステレオ L/R: 3.5 mm ステレオミニジャック

アンプ部

- ・定格出力 (EIAJ) 20 W + 20 W
(6 Ω 1 kHz、10% THD)
- ・入力インピーダンス (AUX) 73 k Ω
- ・最大許容入力 (AUX) 2.2 V
- ・全高調波歪率 CD etc. 1 kHz/8 W 0.04 %

チューナー部

- ・受信周波数範囲
FM 76.0 ~ 90.0 MHz
AM 531 ~ 1629 kHz

総合

- ・電源電圧 / 周波数 AC 100 V、50/60 Hz
- ・消費電力 32 W
- ・待機時消費電力 (スタンバイ時) 0.3 W 以下
- ・外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) 180 × 118 × 318.2 mm
- ・質量 2.95 kg

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

スピーカーの仕様については、NS-BP111 に付属の取扱説明書をご参照ください。

iPod, iPhone, iPad

「Made for iPod」、「Made for iPhone」、「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone、または iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

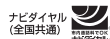
iPod、iPhone、または iPad でこの電子アクセサリーを使用すると、ワイヤレス機能に影響を与える可能性がありますのでご注意ください。

iPad、iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器で相談窓口



0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

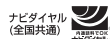
■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAX (053) 463-1127

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125

名古屋 〒454-0832 名古屋市中川区清船町4丁目1-11
ピアノ運送(株)名古屋営業所1F
FAX (052)363-5903

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

- **保証期間**
お買い上げ日から1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部品等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

